

博士課程教育リーディングプログラム 平成29年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
機関名	京都大学	全体責任者（学長）	山極 壽一
類型	複合領域型（安全安心）	プログラム責任者	北野 正雄
整理番号	D01	プログラムコーディネーター	寶 馨
プログラム名称	グローバル生存学大学院連携プログラム		

＜プログラム進捗状況概要＞

1. プログラムの目的・大学の改革構想

現代の地球社会においては、①巨大自然災害、②突発的人為災害・事故、③環境劣化・感染症などの地域環境変動、④食料安全保障といった危険事象や社会不安がますます大きく、かつ広がっている。

本学位プログラムでは、「グローバル生存学」という新たな学際領域を設定し、

- (1) 人類が直面する危機を乗り越え、人間社会を心豊かにし、その安寧に貢献するという使命感・倫理観にあふれた人材
- (2) 自らの専門性に加えて幅広い視野と知識・智恵によつて的確に対策を行うことのできる判断力・行動力を備えた人材

の育成を目指し、安全安心分野において研究・教育の実績・経緯をもつ研究科が結集して、研究科横断型の大学院連携の教育システムを確立する。

2. プログラムの進捗状況

本年度は1年次の履修生として9名、3年次の編入履修生として3名を本科生として受け入れた。これにより、学生数が76人（5年生15人、4年生13人、3年生19人、2年生14人、1年生9人、これ以外に留年6人）となった。学位審査委員会において学位審査をおこない、本年度は11名のプログラム修了者を輩出した。eポートフォリオシステム（GSSフォリオ）を運用し、授業レポートや実習・活動報告などの学びの記録を格納することで、指導教員とメンター教員が履修管理、成績管理、リーダーシップ要件の達成度確認などの作業をインターネットを通しておこなった。第7回の国際アドバイザー会議をこれまでの活動を総括するための会議と位置づけて10月に開催して、GSSプログラムの成果を確認し、GSS総括ステートメントとして取りまとめた。また、リーダーシップ育成ワークショップを開催し、学生の啓発・スキルアップの場を設けた。産業界からのアドバイザーによるキャリアパス特別講義を5回、国際アドバイザーによるキャリアパス特別講義を1回開催し、学生と企業関係者が相互に対話することによって学生の産業界（企業）への関心を一層深めた。